

平成31(令和元)年度 上田市立傍陽小学校 自己評価シート

A:達成できた B:概ね達成できた C:達成までに努力が必要である D:達成までにさらなる努力が必要である。

評価方法 ア…教師自身による評価 イ…校長による評価 ウ…子どもの評価 エ…保護者からの評価 オ…学校関係者による評価

令和2年3月3日

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)		総合評価					
ここに笑顔 どきどき挑戦 どんどん響き合う 傍陽の子		○健やかな心と体…命と健康を大切に子ども、友達とともに体を動かし遊ぶ子ども ○確かな学力…課題を持って粘り強く解決する子ども、自分の考えを持ち深める子ども ○豊かな心…思いやりの心で友達に接し、互いに協力し合える子ども		・互いの心と体を尊重しあい、よりよい人間関係を築きながら授業等に熱心に取り組んだ。 ・課題を解決するために、子ども同士が考えを交流しあい、教えあいや学びあう姿が目立った。学習したことをより深く掘り下げることをさらに充実させたい。 ・「学校は楽しい」と感じている子どもが多い。前向きに考えることが難しい子どもについては、個別で指導を継続してきた。個別指導を継続しながら、より多くの子どもを包み込む指導が必要である。					
		今年度の重点目標		評価方法	成果と課題			改善策・向上策	
		1	太陽のような笑顔のあいさつ	アイウエオ	・挨拶を交わしあう姿が多くみられた。 ・音楽会や歌の広場での活動を続け、歌に抵抗なく取り組める子どもが増えた。	A	B	C	D
		2	歌声のあふれる学校	アイウエオ	・行事や特設そえひの時間を通して本気になって取り組める様子が多くみられた。	○			
3	楽しさを味わえる本気の取り組み	アイウエオ			○				
領域	対象	評価項目	評価の観点	評価方法					
学校教育	学習指導	自ら課題を持ち追究する	子ども自身が課題を持って追究できるよう授業や単元を工夫し指導を行ったか。	アイウエオ	・課題を明確に示すことでやるべきことがわかり、取り組む構えがかわってきた。		○		・課題の押し付けを避け、子どもの声をもとに課題設定できるよう工夫を重ねていく。
		互いの考えを聞き話し合い、自分の考えを深める	課題を解決するために、互いの考えを伝え合い話し合うことを通して、自分の考えをさらに深めていくことにつながる指導を行ったか。	アイウエオ	・小集団で話す機会を取り入れ、子ども同士で支えあい教えあうことができた。学びを深める指導には至らなかった。		○		・自分の考えを表現しやすくなる支援をおこなう。 ・話し合いで学びが深まるために何が必要かを研究していく。
		表現を通した心の解放	多様な表現方法に触れ、自らの表現をしながら、自分の良さを発揮できるよう指導を行ったか。	アイウエオ	・歌、楽器、言葉、ダンスなど多様な方法を通してのびのびと自分を表現し、自身のよさを感じることももいた。	○			・のびのびと表現するよさから自己肯定感や自尊感情へつなげるよう多様性を認める指導を継続していく。
		「わかった」「できた」が実感できる授業づくり	授業のユニバーサルデザイン化や、授業の振りかえりなどを通して、学習の中で充実感や満足感を得られるような指導を行ったか。	アイウエオ	・児童の興味関心に応じた内容にすることで、意欲の向上につながった。 ・学びのつまずきに対して、個別指導に頼ることが多い。		○		・学級の実態に応じたユニバーサルデザイン化を探り、授業づくりに活かす。
	生徒指導	挨拶・返事・感謝の言葉	教師が子どもと関わりながら、「はい」の返事・「ありがとう」の感謝の言葉を伝え合い、コミュニケーションに結びつける指導を行ったか。	アイウエオ	・職員、子どもの双方が挨拶を交わしあう姿が多い。互いが先に挨拶しようとする雰囲気を作った。	○			・挨拶指導を継続する。場に応じた挨拶ができるよう指導をする。常に職員が見本となって挨拶をする。
		自他を大切に、共に伸びる喜び	互いを認め合い、支え合う人間関係を人権教育の視点に立って指導したか。	アイウエオ	・互いを尊重した生活ができているが、気になるところは声がけを繰り返した。		○		・縦割り班のほか、連学年で授業を行い、広い人間関係の構築に努める。
学校運営	学校づくり	家庭・地域との連携	子どものよりよい成長を願うことを基盤に、保護者との連絡を密にし共通理解を形成しながら教育活動の充実にも努めることができたか。	アイエオ	・学校と家庭を繋ぐツールとして「つむぐ」を使うことが有効だった。さらに保護者と緊密な関係づくりに努める。		○		・直接顔をあわせて話す機会をとらえ、子どものよさや気になることを伝える。
			地域の方に学ぶ学習を仕組み、家庭・地域の方と連携して、教育活動の充実にも努めることができたか。	アイエオ	・地域との交流、遠足、ふれあい伝承広場などを通して、地域に学ぶ学習から地域の良さを感じることもできた。		○		・地域素材を積極的に教材化していくためには、職員が地域を深く知る必要がある。 ・持続的継続的なコミュニティスクールづくりを進める。
	情報発信	学校の願いや児童が活躍している様子等が伝わる情報が発信できたか。	アイエオ	・学年だより、学校だより、ホームページを通じて学校の様子を定期的に発信できた。		○		・子どもの様子を伝えるほか、学校の願いや活動のねらいなども伝えていくことで、発信の質を高めていく。	